

第3回「社会と情報に関するシンポジウム」1993

社会情報学部研究委員会 狩野 陽

札幌学院大学社会情報学部の創設を記念して開催した「社会と情報」を主題とするシンポジウムは3度目を迎えて、1993年7月30日、31日の両日、行なわれた。当日は、北海道にあってさえなお夏の朝とは思えぬ冷い風雨の降りしきりの中で始まったが、50名に近い関連領域の研究者が参集して密度の高い報告と討論が続いた。

第1日は、田中一社会情報学部長の挨拶の後、東京工業大学工学部、今田高俊教授による「情報社会と自己組織性」の報告と討論に入った。食事やコヒィブレイクの時間を挟み、東京大学先端科学技術研究センター、大須賀節雄教授の「知的情報技術と人間」の報告と討論、最後に一橋大学商学部、金子郁容教授が「情報と『かかわり』」を論じた。

論議と歓談は座を札幌学院大学建学記念館に移して夏の夜の更けるまで尽きなかった。

第2日は、今田教授と大須賀教授の論点の展開と多彩な視点からの討論が、かなりインテリメトリに交わされ、本学、田中二郎教授がまとめを行なって、幕を閉じた。

本年度のシンポジウムは、先ず、今田教授に基本的な提言をいただいた後、それへのコミットと討論を含みながら、本来の主題の展開をいただくことを、大須賀教授と金子教授にお願いした。これは難儀な仕事であり、とりわけ専門領域を異にする大須賀教授にはご迷惑のことであろうと案じられたが、教授はきわめて的確に社会学者の論点を検討されながら、明快にご自身の研究の展開を提示された。金子教授は、ご身辺の不幸な出来事への急遽な対処を要したにも拘らず、第1日の報告と討論を確実にお進めいただいた。

ここに、報告の皆様、討論に参加の方々、そして会合を支えた関係の方達に、深く謝意を表する。

■プログラム内容

第1日目

開会の挨拶 狩野 陽(札幌学院大学)

学部長挨拶 田中 一(札幌学院大学)

講演1 今田高俊(東京工業大学)

講演2 大須賀節雄(東京大学先端科学技術研究センター)

講演3 金子郁容(一橋大学)

第2日目

総括討論

討論者

今田高俊(東京工業大学)

大須賀節雄(東京大学先端科学技術研究センター)

サマリートーク

田中二郎(札幌学院大学)

司会

狩野 陽(札幌学院大学)

皆川雅章(札幌学院大学)

伊藤 守(札幌学院大学)